

飯能市平和都市宣言制定記念展示

ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展

令和元年7月14日(日)～8月25日(日)

飯能市立博物館きつとす・特別展示室

主催：飯能市・飯能市教育委員会

飯能市では平成31年3月16日に「飯能市平和都市宣言」を制定いたしました。

戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを決して忘れず、平和への願いを令和の新しい時代に引き継いでいくため、博物館ではヒロシマ・ナガサキの原爆被害の実相を伝えるパネル30枚を展示します。ぜひご覧下さい。

飯能市平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

戦争や核兵器の使用を許さず、また、人々の穏やかな日常を脅かす差別や貧困、環境破壊などをなくすため、世界の国や地域が共に手を携え、平和への歩みを進めていかなければなりません。

本市は、戦争の悲惨さと核兵器の恐ろしさを決して忘れません。

そして、豊かな自然や文化、人々の優しさや思いやりの心を次世代に引き継ぎながら、誰もが笑顔にあふれ幸せに暮らせる社会の実現を目指します。

ここに、明るい未来を展望し、世界の恒久平和に貢献することを誓い、「平和都市」を宣言します。

平成31年3月16日

飯能市長 入 保 勝

私たちは飯能市の平和の象徴である、豊かな自然や文化、人々の優しさや思いやりの心を次世代へ引き継いでいくとともに、人類共通の願いである世界の恒久平和に、貢献していく責務があります。平和に対する強い決意の表明として、平和への願いが込められた平成という元号の意志を新たな時代へ引き継ぐため、平和都市宣言を制定いたしました。



きのご雲（原子雲）

松田弘道撮影 長崎原爆資料館提供



広島県産業奨励館（原爆ドーム）と爆心地付近

米国撮影
広島平和記念資料館提供

※ここに掲載した写真は、今回展示する写真パネルには掲載されていません。